

■ 浜田漁港周辺エリア活性化計画(全体ビジョン)について【回答一覧】

【取組方針の3本柱】
 ①漁港・市場機能の強化
 ②集荷・販売力の強化
 ③観光及び地域活性化の推進

	【質問事項】 課題解決に向けた取組方針の「3本の柱」について、 柱立てや具体的な施策についてご意見があればお願いします。	取組方針の3本柱 ＜主な該当項目＞				備考
		①	②	③	①～③ 以外	
A	観光及び地域活性化の推進 ○賑わいのある集客施設の設置 【追記】・仲買による一般向け販売の実施 ・市民向け循環バスの運行 ・石見地方特産品の販売			○		
B	・取組方針の「3本の柱」ならびに具体的な施策については、事務局の提案(資料4)に対して特に要求はありません。 ・但し、今後施策の内容と詰めて行く過程においては各施策と誰がどういうスケジュールで進めていくかを明確にするとともに、メリハリをつけ重要施策を集中して展開していただきたい。また、関係者と十分協議を行うとともに、計画を中心的に進めて行くリーダーを育てて欲しい。				○	
C	集荷、販売力の強化 ○地元の魚を使った寿司屋、和食レストラン 料理人の育成、山の幸とコラボした料理 観光及び地域活性化の推進 ●マリン大橋の活用 ウォーキング大会、撮影会等 ●福井地区の荷あげもガイドがつくとおもしろい目玉となる ●松原地区→商港までのサイクリングロードの整備 ※温暖化で漁獲高もおちこんでくる。栽培漁業にも投資されたいかがか		○	○		
D	【観光:お魚センターの再建について】 高度衛生化荷捌き所の建設と両建て 高額な税金を投下する施設、変貌が必要。設計は「顧客重視」に見直すべき。 浜田のイメージを重視、イメージは「海、港、魚」である。 観光客が必ず立ち寄る場所は、「お魚センター」である。 市民に愛され、観光客や来浜者へ積極的に薦められるセンターとすべき。 1、お客様本位、市民本位の施設。 2、賑わいの創生、建物の前の広い敷地を有効に活用。 3、顧客を歓迎する外向きな施設とする。 4、リピーター重視。 5、「お魚センター」を浜田の港のプラットホームとする。 【具体策】 1、顧客用建物への設計変更、店舗を外向きにする。 2、マーケティングコンサルティング業者の活用。 3、接遇のレベルアップ、HACCPの取得。 4、浜焼施設の充実。 5、フードコートは1階に設置、2階は景観を楽しめる休憩所&事務所にする。 6、観光バス、観光タクシーの誘致(観光タクシーの整備、市内バスの停留所設置)。 7、建物の雨除け部分を広げる。屋台がいつでも設置できるようにする。 広場にテントを増設できるようにしておく。そのため駐車場の位置は遠くめに移設する。	○		○		
E	・新施設が継続するためには、多くの市民の方が利用することが不可欠だと思います。 ・そのためには、市民の方々に施設を盛り上げていく意識をもってもらうことが大切です。 ・特に立ち上がりの時点で、市民の方には「プラスのイメージ」を発信してもらうことが必要です。 ・市民の方が利用する施設は、観光客にも受け入れられると考えられます。				○	
F	①コンセンサス 現場の声・意見(公設市場関係者)を出し合い議論などを通じて、関係者の根底にある多様な価値を顕在化させ、意思決定において相互(多様な利害関係者)の意見の一致を図ることが第一であると考えられます。それができないと3本の柱は立柱できないと思われ、また市民からも目を離されて行きます。 ②コンセプト 新施設のターゲット(顧客)はどこ?〔市民、観光客、海外市場、地方(ふるさと納税等)〕				○	

- 【取組方針の3本柱】
 ①漁港・市場機能の強化
 ②集荷・販売力の強化
 ③観光及び地域活性化の推進

	【質問事項】 課題解決に向けた取組方針の「3本の柱」について、 柱立てや具体的な施策についてご意見があればお願いします。	取組方針の3本柱 ＜主な該当項目＞				備考
		①	②	③	①～③ 以外	
G	<p>瀬戸ヶ島埋立地の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国屈指の栽培、養殖センターの設置。 ○隣接する水産技術センターと協力。 ○多種多様な漁種を目指す。 ○多種多様な漁種の放流。 ○漁業資源の確保めざす。 ○地元船田の豊漁につなげる。 <p>○収益、増大、担い手確保につながる。</p> <p>○栽培、養殖センターへの視察、見学者の呼び込み増に。</p> <p>○来場者のお魚センターへの呼び込み、誘導につなげる。</p> <p>いちど経営難になった店舗はそれを利用し、リホームして再開しても長つづきしない(じんくすがある)</p> <p>解体して新たに若者などの意見を取り入れた建物にすべき。 これには多額の予算が必要。覚悟して取組むべし。</p>	○		○		
H	<p>計画にはビジョンが必要でその柱(土台)となるものも必要なことはわかります。 その柱にたくさん支柱が必要ですが確実に支柱となり枝となり花を咲かせる木になってもらえないと困ります。その花を咲かせるためには、確実に、堅実な実効性のある柱が必要ではないでしょうか</p> <p>「しまねお魚センター」がどのように生まれ変わるのか、前回のような失敗をしないだろうかと心配しながらも又その反面期待をしながら今回の浜田漁港周辺エリア活性化計画検討委員会の報告がどのように発表されるのか、市民の皆様は期待しておられるように感じておりますが、どうでしょうか。ですからこの会の委員になった責任の重さを感じながら毎回の会議に出席しております。</p> <p>魚の値段は別にしてもみんなが行きやすい、親しみのある、楽しい、人にやさしい施設になってほしいと願っております。</p>			○		
I	<p>魚の街浜田を全国のお客様に周知していただくには、お魚センターを核とした漁港周辺エリアの整備は必要不可欠である。</p> <p>浜田の観光の目玉として、魚市場でのセリの状況が見物でき、その魚を安価で購入でき、食べることのできる場所がお魚センターである。また市民の食品市場と成り得るためにも、これまでの公設水産物仲買市場と同様な価格で販売できるよう、お魚センターの改修は必要最小限に抑え、業者の負担をできるだけ軽減できるよう知恵を出すことである。</p>			○		
J	<p>「3本の柱」は素晴らしい案だと思いますが、時間や人材・資金など不足している中ではすべてが中途半端になるのではと考えます。</p> <p>私としては、「観光及び地域活性化」にすべてを集中し、特に「市民のための港」にしていければと思います。</p> <p>浜田市民の方々に受け入れてもらえれば、自然と観光にもつながっていくのではないのでしょうか。</p> <p>例：浜田で一番新鮮な魚介類が買える、または食べれる新施設など</p>			○		
K	<p>前回アンケートで述べた通り、人口減少が続く中で、浜田市に人材、金、技術を継続して注入し続けることができるとは、思えません。</p> <p>観光や賑わい創出を視野に入れた多岐に渡る施策は力の分散のみで、浜田港の活性に繋がるとは考えにくい。</p> <p>取組第一は高度な衛生管理体制の構築です。鮮魚にしても加工品にしても高い品質が保証できる位の設備と技術力の獲得が先決だと思います。</p> <p>良い商品を提供し続けることができれば、ブランド化や販路の拡大も可能だと思いますし、魚価が上がれば、外来船の誘致も容易になると考えます。</p> <p>しまねお魚センターへの仲買売場移転は当然だと思いますが、2階のレストラン部分は水産関係者の休息と食堂程度でよいと考えます。</p> <p>一案ですが、活性化計画全体をAI(人工知能)に判断させては如何ですか？ どうしても、お魚センターを主に活性化を図ろうとするならば、仲買売場への一般顧客や観光客を集客し続けることはお魚センターのみでは困難と考えます。</p> <p>例えば、広島県三次市のワイナリー対面にある児童公園のような無料の遊具類(滑り台、ブランコ、シーソー、ジャングルジム、等々)を配置して近隣の親子ジジババや幼稚園、保育園が子育ての場所として利用できる施設が必要と考えます。</p> <p>規模は中国5県屈指の施設を望みます。</p>	○	○	○		

- 【取組方針の3本柱】
 ①漁港・市場機能の強化
 ②集荷・販売力の強化
 ③観光及び地域活性化の推進

【質問事項】 課題解決に向けた取組方針の「3本の柱」について、 柱立てや具体的な施策についてご意見があればお願いします。	取組方針の3本柱 ＜主な該当項目＞				備考
	①	②	③	①～③ 以外	
<p>■課題解決に向けた取組方針の「3本の柱」について</p> <p>【起】言葉の選択。事務局の危機感と緊張感が欠けているのではないかと「概ね良好」という答えが欲しいなどは言語同断。テーマ自体が陳腐(どこにでもある言葉の羅列⇒どうしてもこれで行くなら詳細な「差別化」が必要)。基本スタンスは、「今存在して、さらに充実」なのか、「今既に危ないが、これを立て直してできることを肉付け」なのか？</p> <p>【承】現実的に「根」があるのか？ 有⇒活用、推進、増進、強化、活性化、組織化 無⇒設置、構築、開拓、創出 やらねばならない事(義務) ⇒整備、対策、(設置)、(構築)</p> <p>【転】第1回会議【参考資料2(「元気な浜田」をつくるためのロードマップ)】及び【参考資料4(浜の活力再生プラン)】のH30年度の達成度合いを踏まえ、かつ、「漁業関係者の合意に基づいた希望」に応える計画であらねばならない。さらに「開かれた浜田の漁業」に触れる必要はないか？</p> <p>【結】テーマは、まず「分かり易く」、「達成に希望があり」、「私たち(市民)は海の町浜田と共に歩む」という「集団幻想」を抱けるものとなることが望まれる。</p> <p>■第2回委員会で提示された原案(資料4-1)について</p> <p>将来ビジョン(将来のあるべき姿) 安心安全を与え、活力のある水産業が立ち、賑わいのある活気あふれる浜田漁港</p> <p>*感想 全体的に上から目線(特に下線部)。加えて目標が限りなく遠くに思える。要するに「これまでできなかった(課題)こと」を「焼き直しで再掲する」と受け取れかねない。 例えば: 将来ビジョン(海と共に歩むまち浜田) 「多様性」で(に)人が動き、集う(みんなの)浜田ポートエリア</p> <p>課題解決への対応方向 (取組方針と具体的な施策) とか</p> <p>*感想 現提案では3本柱のまとめになっていない。 例えば: 開かれた浜田の漁業 (多様性への模索) とか</p> <p>■その他 ○【強み】【課題】は、「現状」として整理 ○バックデータの必要性 【課題】欄の「漁獲量の減少(数値も)」「魚価の低迷(数値と平均値も)」「漁業者及び小売水産加工業関連企業の所得の減少(いずれも数値)」「消費者ニーズ(内容)」「魚離れ(根拠)」「漁業者、水産加工業者等の水産関係者の減少(数値)」「高齢化・後継者不足(数値)」に加え「燃料費の高騰による操業コストの増大(数値)」 ○バックデータの信ぴょう性 例えば: 第1回会議の[資料7-3]のP24、25.これで行くとH5～H21の客単価が、ほぼ3,502円となるが、不自然ではないか？ ○行政の支援は十分か？ 例えば: 「水産加工業の振興(HACCP対応の推進)」「6次産業化の推進」「海外市場への開拓」では、「HACCP認定工場」が必須であると考えられるが、支援体制は大丈夫か？ 『補助率1/2以下の事業で補助残の5%以内の支援』は実効性があるのか？因みに、水産庁の「HACCP対応のための施設改修等支援事業」の実績が無いように見受けられる(H24～H30)がどうか？ ○「課題解決への対応方向」は太字の項目のみとし、細字項目を「取組項目と具体的な行動計画」として言葉の使い方に留意し再考。 ○他項目として「成果指標(数値目標)」「推進体制(一定期間恒常性を持たせる)」が必要ではないか？ ○市内に点在する「海藻業」「一本釣り」の拠点(第1・2種漁港)関連(正、準組合員・漁港設備・漁獲物収集方法)に触れなくても良いのか？ ○具体的に関係団体の名称を使う。(連携分野を明確に) 例えば: 「担い手の確保」を ↓ 「浜田水産高校との連携による新規就業者の確保」とか</p>	○	○	○		

- 【取組方針の3本柱】
 ①漁港・市場機能の強化
 ②集荷・販売力の強化
 ③観光及び地域活性化の推進

	【質問事項】 課題解決に向けた取組方針の「3本の柱」について、 柱立てや具体的な施策についてご意見があればお願いします。	取組方針の3本柱 ＜主な該当項目＞				備考
		①	②	③	①～③ 以外	
M	<p>図Ⅱ-3-22 水産物の一般的な流通経路</p> <p>この構造の中で、浜田市(市内の生産者・卸売業者・加工業者・小売店舗等)の経済効果などの位あるのかが分からないが、浜田漁港の水揚げ高がいくら上がろうと他地域の事業者の関与度合いが高ければ高いほど、浜田市への経済波及効果は少なくなると考えられる。 生産者(A)が他地域からの船団だと、浜田漁港に水揚げされても、その経済効果は他地域のものとなるのではないかと思う。(但し、加工業者(D)にとっては、原魚確保という点で大きく貢献する。)</p> <p>現在、浜田市の漁業就業者が811人(H5年)⇒276人(H25年)と激減しており、その原因の一つは『所得の低さ』にあると考えられる。所得水準引き上げのためには販売単価を上げる事であるが、その方法の一つとして『生産者が消費者に近いところで販売すること』が考えられる。しかし、現在の流通構造の中で『それが可能か?』、『誰(JF?)がするのか?』、『JFあるいは卸売業者がそれを許すのか?』等課題がある。 A～Dの全てで産業振興となるのが理想であるが、浜田市経済に対してプラスが増えていくことを前提として、入口(生産者)から出口(消費者)までの流れを考えた中での産業振興が必要と思える。 また、A～Dのどの部分に重点を置くかによって、振興施策は変わってくると思う。 例としては、 ・Aに重点を置くなら、生産者の所得向上(販売単価上昇、付加価値を高める等)や従事者を増やすための施策。(底引き等の事業体なのか一本釣り等の個人事業者なのか、あるいはその両方なのか) ・Bに重点を置くなら、浜田市内卸売業者の収益向上(販路開拓、付加価値を高める等)のための施策。 ・Dに重点を置くなら、加工事業者の収益向上(原魚の確保、販路開拓、付加価値を高める等)のための施策。 ・これらを複合しての施策。 などが考えられるが、『浜田漁港周辺エリアの活性化計画』はその一環として検討すべきだと思う。</p>					○
N	<p>「観光及び地域活性化の推進について」</p> <p>●県内はもとより全国各地から観光客が浜田を訪れるような企画を計画する。 「石見体験泊:仮称」</p> <p>1.「石見体験泊」とは石見地域における、多くの良さを広く知っていただく旅行のこと。 浜田地域には都会では味わうことができない魅力がたくさんある。獲れたての魚介類や山菜・果物、それらの食材を使った地元料理があり、さらに自然豊かな景観など、石見地域の伝統を伝える農業・漁業をはじめとした産業・文化に触れる。 ※1 農業・漁業の両方を体験することが日程的、費用的に困難であれば、漁港周辺の活性化ということで、漁業中心で内容を検討する。 ※2 石見体験泊はシャトルバスで行う。</p> <p>2.「石見体験泊」でできること (1)宿泊 空き家や民宿などの宿泊施設で地元の人と語りあうことで農家・漁家の生活を体験する。(本来はお魚センター内に宿泊できる部屋が用意できれば良いと思います。) (2)遊び 海水浴、魚釣り、海洋スポーツなどの海での遊び(畳々浦、海浜公園、アクアス)、や山での遊び(金城ライディングパーク、弥栄ふるさと体験村) (3)体験 魚市場でのセリ見学、海釣り、地引き網などの漁業体験、魚を使用した料理を体験(JF・漁協婦人部)、神楽面作り、紙すきなど。 (4)食べる 海・山の四季の食材を使用した料理や伝統料理など石見地域ならではの美味しい食事の提供。【浜田港四季のお魚26魚種の活用】 (5)見る 青い海や空、夕日や夜の漁り火など(夜のクルージング)</p>					○